iTOMIC
お湯のトータルプランナー

壁掛型電気湯沸器（EWS／EWRシリーズ）
置台型電気湯沸器（ETC／ETRシリーズ）
取扱説明書

ご使用の前に
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・1
製品について ・・・・・・・・・・・3
運転状態の表示 ・・・・・・・・・・7
ご確認ください ・・・・・・・・・・8
使用前の準備と確認 ・・・・・・8
コントローラーの運転切替・・・8
湯沸器に給水する ・・・・・・・・8

使いかた
お湯を沸かす ・・・・・・・・・・10
再沸かし上げ ・・・・・・・・・10
出湯する・・・・・・・・・・・・・11
タイマー設定について ・・・・・12
設定時間の変更 ・・・・・・・・12
連続運転・・・・・・・・・・・・15
夏・節電運転 ・・・・・・・・・・15
省エネ運転 ・・・・・・・・・・・20
運転停止日の設定・・・・・・・・21
スイッチロック機能 ・・・・・・22
現在年月日・時刻の設定・・・・23
自動給排水機能・・・・・・・・・24
手動給排水機能・・・・・・・・・25
設定温度の変更・・・・・・・・・26
設定内容の確認・・・・・・・・・27

お手入れ
お手入れの方法・・・・・・・・・28
長期間使用しないときは ・・・28
保守点検項目と実施の目安・・29
外装のお手入れ ・・・・・・・・29

こんなときは
こんなときは ・・・・・・・・・・30
故障かな？と思ったら ・・・・30
エラー表示 ・・・・・・・・・・32
アフターサービス・・・・・・・・34
型番について ・・・・・・・・・36

◆このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
◆本書を事前によくお読みになり、理解した上で正しくお使いください。
◆本書はお使いになる方がいつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。
ご使用の前に必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で正しくお使いください。
※本書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

警告表示の意味

⚠警告 この表示の欄は、「死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

△の記号は、注意(警告を含む)を払う必要のある事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)

⃠の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)

●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
	アース(D種接地)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	運転時、プラグはコンセントに確実に挿しこんでください。 火災のおそれがあります。
	排水時は必ず本体の電源を切ってから行ってください。 感電のおそれがあります。
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。

⚠警告

湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。
水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

絶対に改造はしないでください。
火災、感電、やけど、湯槽破損やケガの原因となります。

設置、メンテナンス時以外は本体蓋（上蓋）を開けないでください。
やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口、排水管に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

【EWS/EWR】満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。
落下、故障の原因となります。

【ETC/ETR】本体は湯沸器の満水質量に十分耐えられる強度を持った調理台などに必ず水平に設置し、固定金具・耐震バンドは十分な強度を持った壁面に必ず垂直に固定してください。
転倒、故障の原因となります。

給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。
漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。
漏水の原因となります。

貯湯温度が80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

床面に防水、排水処理を施してください。
漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧力が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。
誤動作、故障の原因となります。

【EWS/EWR】お湯を出すときは、必ず水を出してからお湯を出してください。
やけどをしたり、配管などを破損する原因となります。

長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。
凍結して湯槽が破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。
湯槽や配管が破損してやけどをするおそれがあります。

⚠注意

湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。
落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。

水道水以外は使用しないでください。
井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。

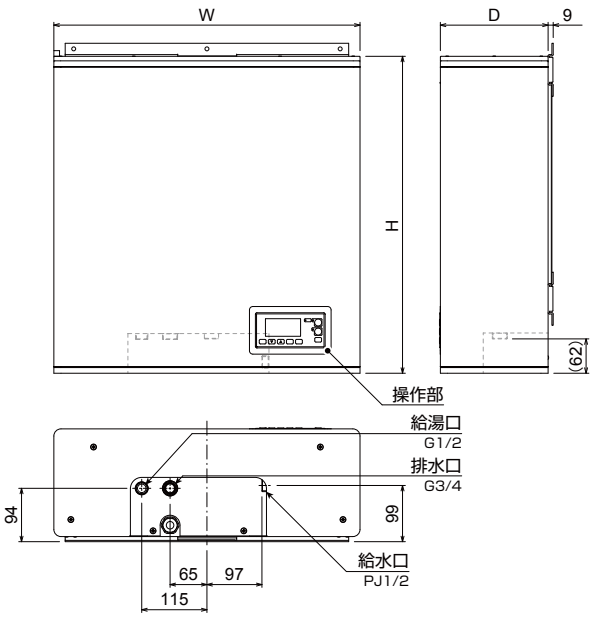
水道水に添加物を混ぜないでください。
健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。

長期間のご使用によって湯槽内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。
健康を害するおそれがあります。

製品について

製品寸法・製品質量

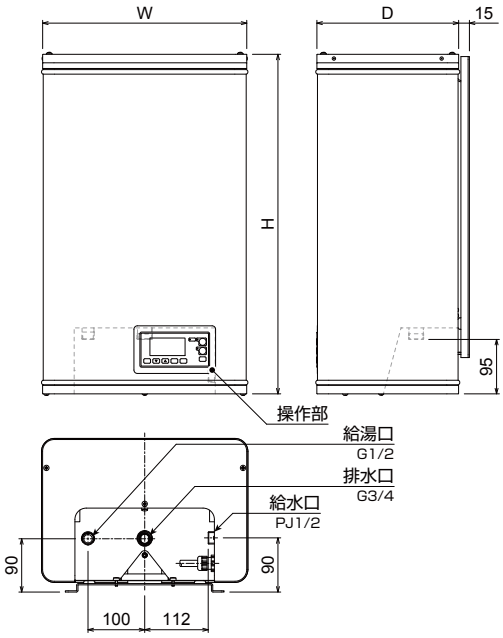
EWS



型式	W	D	H	満水質量
EWS20	540	190	560	36kg
EWS30	540	190	693	48kg
EWS40	540	190	826	60kg

（寸法単位：mm）

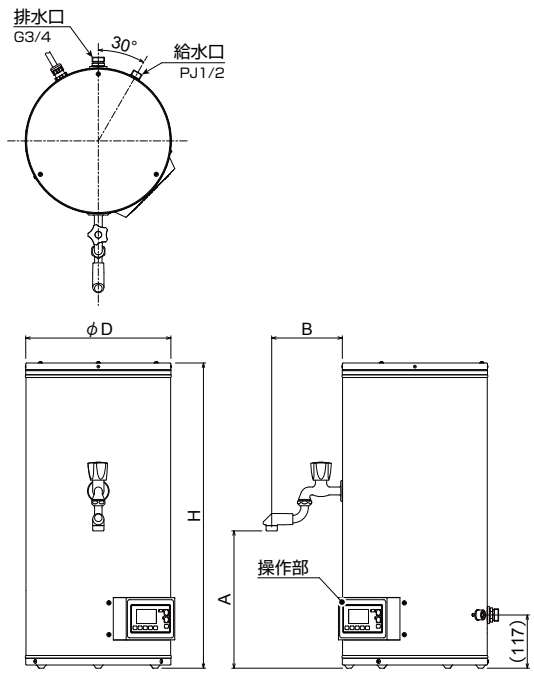
EWR



型式	W	D	H	満水質量
EWR12	360	250	480	23kg
EWR20	360	250	599	32kg
EWR30	360	250	747	44kg
EWR45	450	320	694	63kg
EWR65	450	320	867	86kg

（寸法単位：mm）

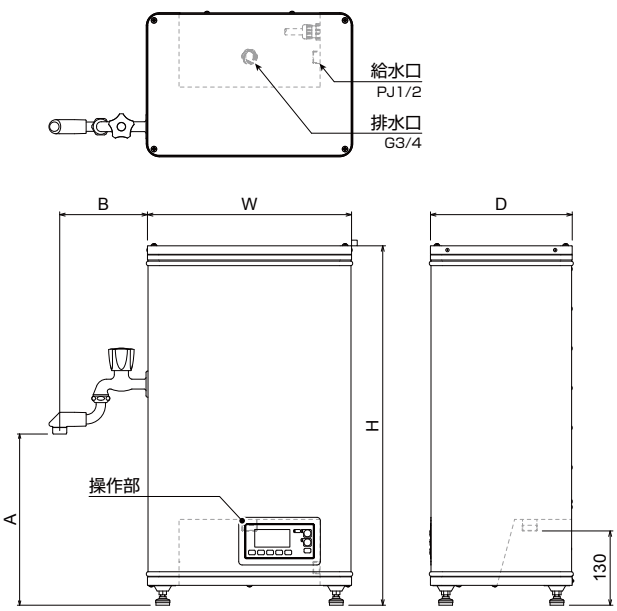
ETC



型式	φD	H	A	B	満水質量
ETC12	320	532	230	150	22kg
ETC20	320	672	300	150	31kg
ETC45	450	685	350	150	62kg
ETC60	450	805	400	150	80kg
ETC90	450	1045	500	150	113kg

（寸法単位：mm）

ETR



型式	W	D	H	A	B	満水質量
ETR12	360	250	515	230	150	24kg
ETR20	360	250	634	300	150	33kg
ETR30	360	250	782	300	150	45kg
ETR45	450	320	729	350	150	64kg
ETR65	450	320	902	400	150	87kg

（寸法単位：mm）

製品仕様

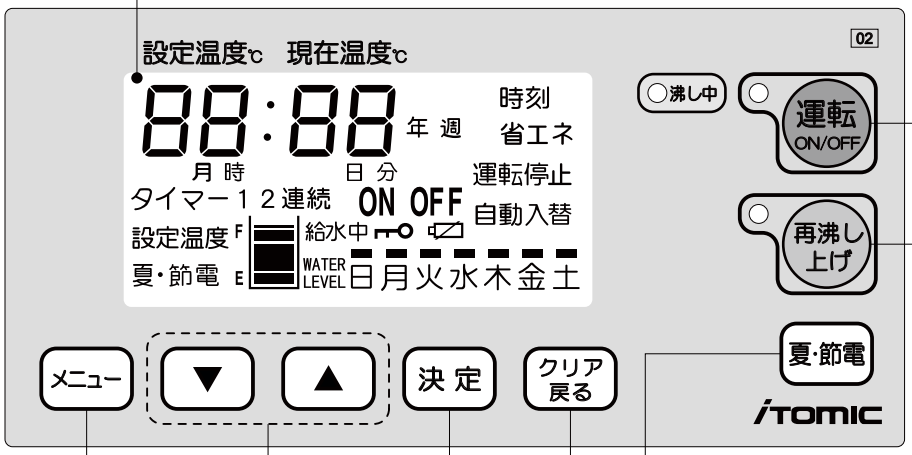
型式		EWS	EWR	ETC	ETR
貯湯量（L）		20/30/40	12/20/30/45/65	12/20/45/60/90	12/20/30/45/65
定格	電圧（V）	単相 100／単相 200			
	周波数（Hz）	50／60			
設定温度範囲（℃）		60～95（1℃刻み）, HI（約 98℃）			
使用条件	使用雰囲気温度	0～40℃（凍結しないこと）			
	一次側使用水温	40℃以下（凍結しないこと）			
	給水圧力	0.1～0.3MPa			
	設置場所	屋内			
接続口径	給水	PJ1/2（15A）			
	給湯	G1/2（15A）		―	
	排水	G3/4（20A）			
主要部品	ヒーター	シーズヒーター			
	電源コード	0.8m		1m	
安全装置		空焚き防止機能、異常高温検出、温度センサー異常検出、沸かし上げ異常検出、給水異常検出 排水異常検出（Cタイプのみ）			

沸き上がり時間の目安

型番	貯湯量	標準ヒーター容量		給水温度		
		単相 100V	単相 200V	5℃	15℃	25℃
EWS20	20L	1.5kW	1.5kW	84分	75分	66分
EWS30	30L	1.5kW	2.0kW	126分／95分	112分／84分	98分／74分
EWS40	40L	1.5kW	3.0kW	168分／84分	149分／75分	131分／66分
EWR12	12L	0.75kW	0.75kW	101分	90分	79分
EWR20	20L	1.5kW	1.5kW	84分	75分	66分
EWR30	30L	1.5kW	2.0kW	126分／95分	112分／84分	98分／74分
EWR45	45L	1.5kW	3.0kW	189分／95分	168分／84分	147分／74分
EWR65	65L	1.5kW	4.0kW	273分／103分	242分／91分	212分／80分
ETC12	12L	0.75kW	0.75kW	101分	90分	79分
ETC20	20L	1.5kW	1.5kW	84分	75分	66分
ETC45	45L	1.5kW	2.0kW	189分／142分	168分／126分	147分／110分
ETC60	60L	1.5kW	3.0kW	252分／126分	224分／112分	196分／98分
ETC90	90L	1.5kW	4.0kW	377分／142分	335分／126分	294分／110分
ETR12	12L	0.75kW	0.75kW	101分	90分	79分
ETR20	20L	1.5kW	1.5kW	84分	75分	66分
ETR30	30L	1.5kW	2.0kW	126分／95分	112分／84分	98分／74分
ETR45	45L	1.5kW	3.0kW	189分／95分	168分／84分	147分／74分
ETR65	65L	1.5kW	4.0kW	273分／103分	242分／91分	212分／80分

※沸かし上げ温度 95℃で算出

操作部



再沸し上げスイッチ
タイマー設定時間外や、夏・節電モードで設定した休止期間に強制的に沸かし上げを行うときに使用します。

表示部
温度、運転モードなどを表示します。

運転スイッチ
運転 ON ／ OFF の切り替えや、エラー発生時のブザー停止に使用します。

メニュースイッチ
各種設定を変更するときに使用します。

夏・節電スイッチ
夏場の節電・省エネ運転を設定するときに使用します。

▼▲スイッチ
設定中の内容を変更するときに使用します。

クリアスイッチ
設定を取り消したり、１つ前の操作に戻るときに使用します。

決定スイッチ
設定内容を決定するときに使用します。

表示部

タイマー
タイマー運転状態を表示します。

温度
設定温度、湯温、現在時刻などを表示します。

時刻
現在年月日、時刻を設定するときに表示します。

省エネ
省エネ運転が ON のときに表示します。

運転停止
運転停止機能が ON のときに表示します。

自動入替
自動湯水入替機能が ON のときに表示します。

電池切れ
電池残量が少なくなったときに表示します。

夏・節電
夏・節電モードが ON のときに表示します。

ロック
スイッチをロックしているときに表示します。

設定温度
設定温度を変更するときに表示します。

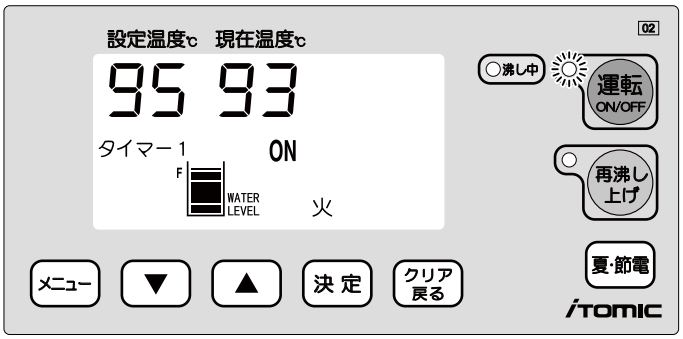
水位
湯槽の水位状態を表示します。

曜日
運転曜日の上にーを表示します。

運転状態の表示

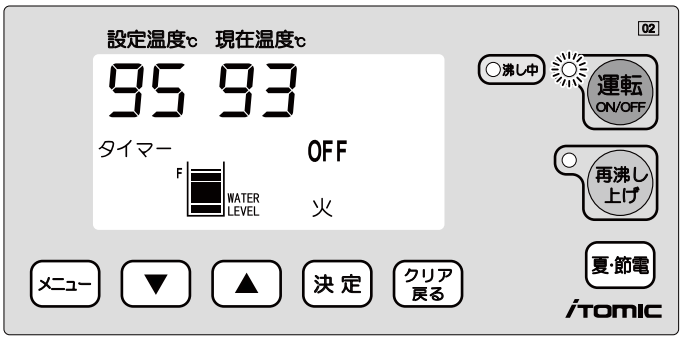
運転状態は常に液晶パネルに表示されています。
液晶パネルに表示される運転状態の表示をよくご覧の上、以降の手順をお読みください。

自動運転中の表示



●運転ランプが点灯

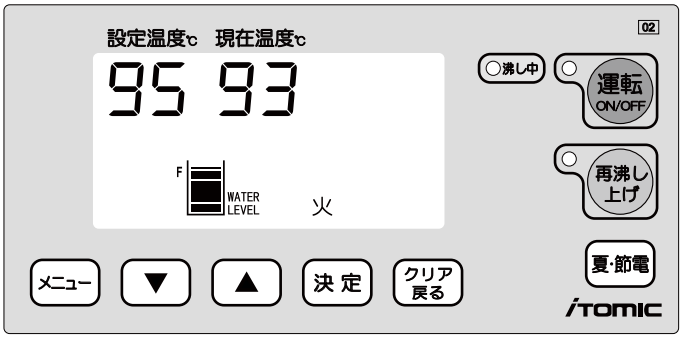
●タイマー ON 表示は、下記の４種類があります。
「タイマー1 ON」……タイマー１の設定時間内
「タイマー2 ON」……タイマー２の設定時間内
「タイマー１２ ON」…タイマー１、タイマー２共に設定時間内
「タイマー連続 ON」…連続運転状態



●タイマー OFF 表示は、全てのタイマー設定時間外を表しています。

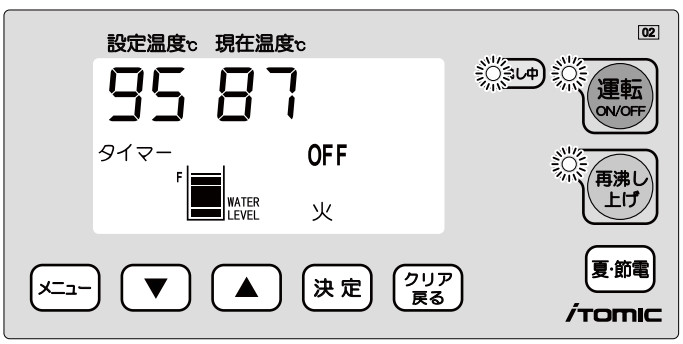
●沸かし上げ中は沸し中ランプが点灯

運転停止中（自動運転解除時）の表示



●運転ランプが消灯

再沸し上げ中（強制沸し上げ中）の表示



●再沸し上げランプが点灯

●沸し中ランプが点灯

※左図は自動運転中に再沸かし上げを行った場合。運転停止中に再沸し上げを行った場合は運転ランプは点灯しません。

ご確認ください

使用前の準備と確認

ご使用の前に以下のことを確認してください。

チェック項目	チェック
近くにガス類や引火物を保管していない。	□
本体や配管の上に物を載せていない。	□
排水管の先がふさがれていない。	□

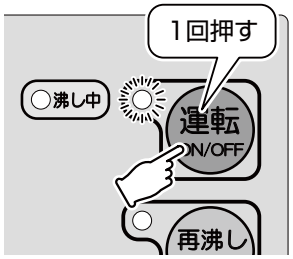
その他の確認事項

●設置場所の標高をご確認ください。
標高の高い場所では沸点が下がります。下記の数値を参考に設定温度を変更してください。
標高 500 ～ 800m未満・・・・・・・94℃
標高 800 ～ 1,000m未満 ・・・・・93℃
標高 1,000 ～ 2,000m未満 ・・・・90℃

コントローラーの運転切替

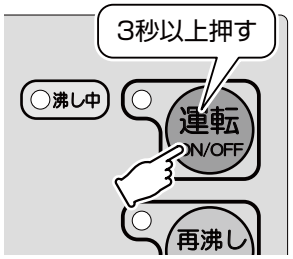
※各種設定の変更や、設定内容の確認などを行っているときは運転 ON ／ OFFの切り替えはできません

運転 ON/OFF を1回押すと…



ランプが点灯し、運転 **ON**になります。

運転 ON/OFF を3秒以上長押しで…

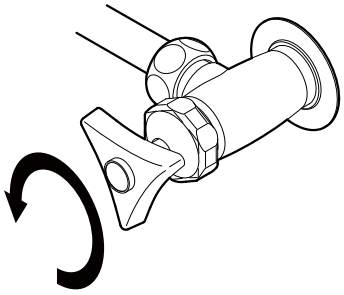


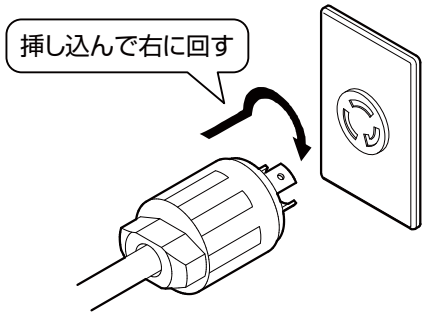
ランプが消灯し、運転 **OFF**になります。

湯沸器に給水する

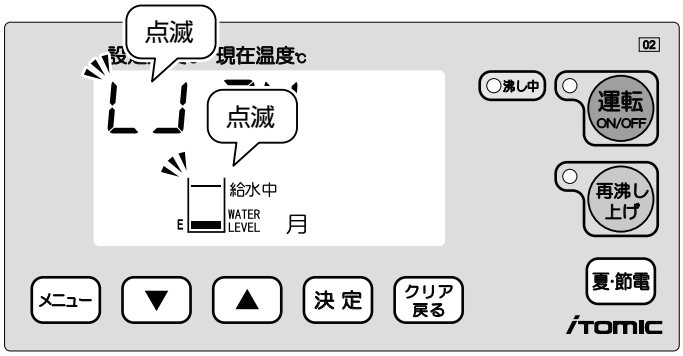
①止水栓を開く。

②電源プラグをコンセントに挿し込む。

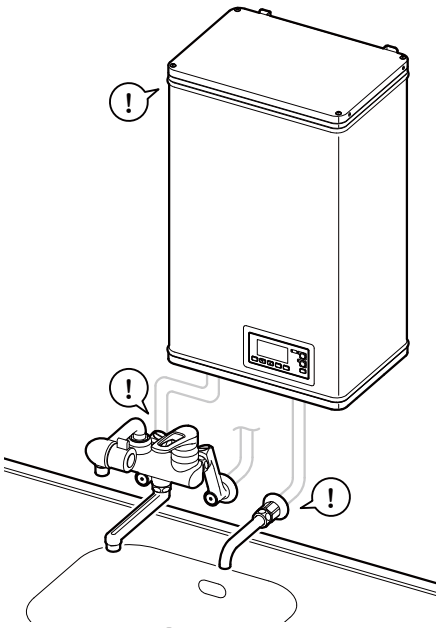




③表示部に給水中画面が表示され、自動的に給水を開始します。
※電源投入時(電源プラグがコンセントに挿してある間)は運転 ON ／ OFFやタイマー設定等に関わらず、常に満水状態となるように制御されます。



④本体や各配管接続部等から漏水がないことを確認する。
※図はEWR型の場合

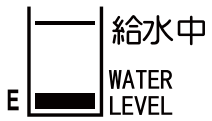


⑤水位表示を見て、満水になったことを確認する。
※下記『水位状態について』参照

(!)：漏水確認箇所の一例

水位状態について

水位表示は以下の内容を表しています。

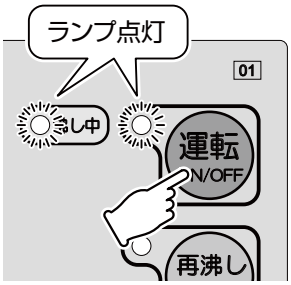
低水位(給水中)	中水位	満水位
		
湯槽内のお湯、または水が一定量を下回っています。この表示中は沸かし上げができません。	湯槽内のお湯、または水が一定量を上回っています。「給水中」の表示はありませんが、満水位まで給水を続けます。	湯槽内のお湯、または水が満水の状態です。運転をONにする場合はこの表示であることを確認してください。

お湯を沸かす

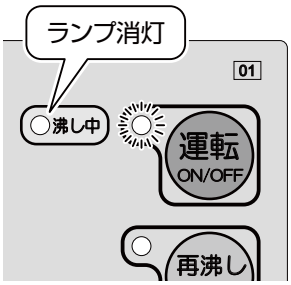
① 運転 ON/OFF を押す。

タイマー設定※にしたがって運転を開始し、
運転ランプ、沸し中ランプが点灯します。

※工場出荷時には【おすすめプログラム】が設定されています。
P.12『おすすめプログラムについて』参照。



②沸かし上げが完了すると自動でヒーターへの通電が止まり、沸し中ランプが消灯します。
（沸かし上げにかかる時間の目安はP.5『沸き上がり時間の目安』を参照）



再沸かし上げ

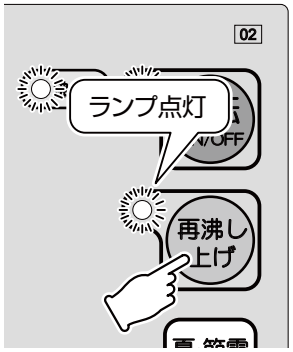
タイマー設定時間外や夏・節電モードなどで運転停止中に強制的にお湯を沸かします。
自動運転中、運転停止中どちらでも再沸かし上げすることが可能です。

※再沸かし上げ中は他のスイッチによる操作はできません。
※再沸かし上げ中に停電した場合は、再沸かし上げを継続した状態で復旧します。

① 再沸し上げ を押す。

再沸し上げランプが点灯し、設定温度まで沸かし上げを開始します。

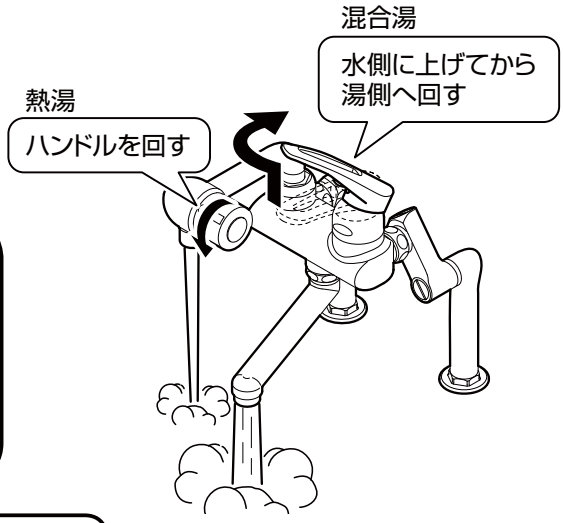
②沸かし上げが完了すると自動でヒーターへの通電が止まり、沸し中ランプ、再沸し上げランプが消灯します。



※再沸かし上げを解除する場合は、再度 再沸し上げ を押す。

出湯する

●混合湯を出すときは、一度水を出してから湯側に開き、温度を調節してください。
●熱湯を出すときは、熱湯栓のハンドルを前方に回してください。(熱湯口付タイプのみ)



※図はMZ-3N3の場合

混合湯、熱湯の同時出湯について

混合湯と熱湯を同時に出す際には、混合栓、熱湯栓両方からお湯が出ますが、**共に出湯量は少なくなります。**

⚠注意

お湯を出すときは、必ず水を出してからお湯を出してください。
やけどをしたり、配管などを破損する原因となります。

タイマー設定について

おすすめプログラムについて

●【おすすめプログラム】とは、湯沸器を簡単にお使いいただくための工場出荷時にセット済みのタイマー設定です。使用開始と同時にタイマー運転が可能です。

●【おすすめプログラム】は下表のように設定されています。

設定内容	タイマー1	タイマー2
運転時間	6:30 ～ 18:30	6:30 ～ 12:30
運転曜日	月～金	設定なし
自動給排水日	月曜日　週1回(Cタイプのみ)	

※【おすすめプログラム】以外の設定で運転を行いたい場合は下記『設定のしかた』を参照し、設定を変更してください。

タイマー設定のしかた

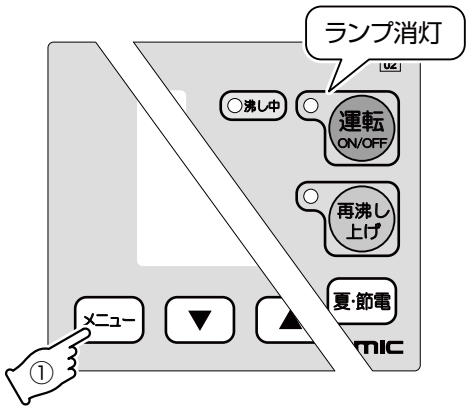
タイマーはタイマー1、タイマー2の2設定が可能です。

設定時間の変更

設定例)タイマー1の設定を下記内容に変更する。
運転曜日：月曜～土曜
運転時間：9:00 ～ 19:00

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に［メニュー］を押す。

設定モードに入ります。



②［▼］［▲］を押して、「タイマー」を選択する。

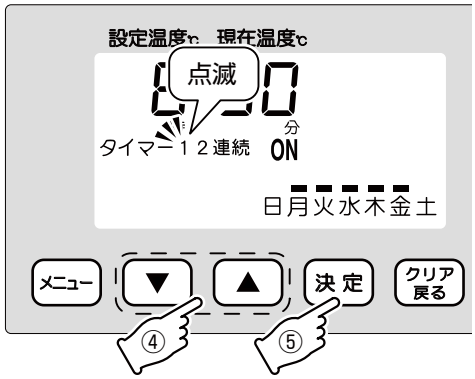
③［決 定］を押す。

タイマー設定モードに入ります。

④［▼］［▲］を押して、「タイマー 1」を選択する。

⑤［決 定］を押す。

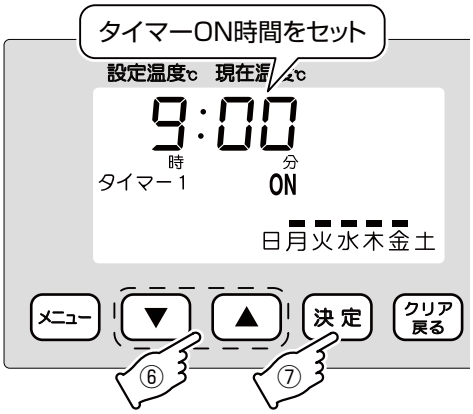
タイマー 1のON時間設定画面になります。



⑥ ▼ ▲ を押して、タイマー ON時間を「9:00」にセットする。

⑦ 決 定 を押す。

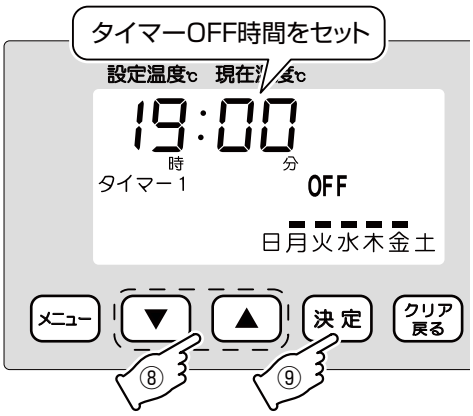
タイマー 1のON時間が設定されました。
タイマー 1のOFF時間設定画面になります。



⑧ ▼ ▲ を押して、タイマー OFF時間を「19:00」にセットする。

⑨ 決 定 を押す。

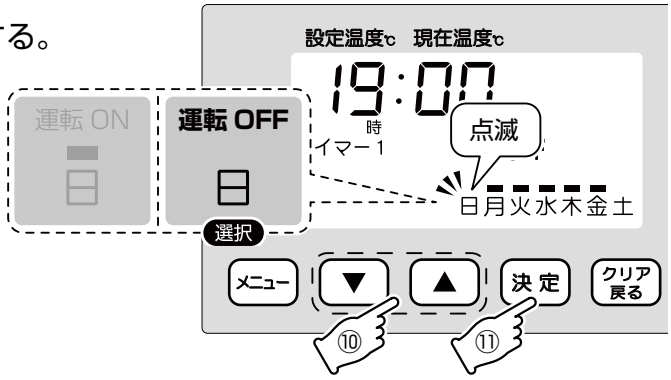
タイマー 1のOFF時間が設定されました。
「日」が点滅し、日曜日の運転設定選択
画面になります。



⑩ ▼ ▲ を押して運転 OFFを選択する。

⑪ 決 定 を押す。

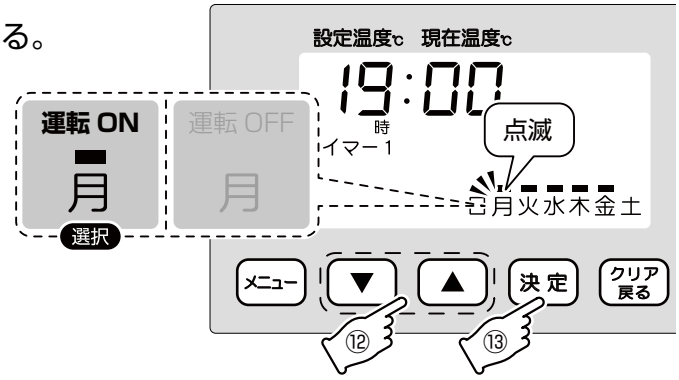
日曜の運転 OFFが設定されました。
「月」が点滅し、月曜日の運転設定
選択画面になります。



⑫ ▼ ▲ を押して運転 ONを選択する。

⑬ 決 定 を押す。

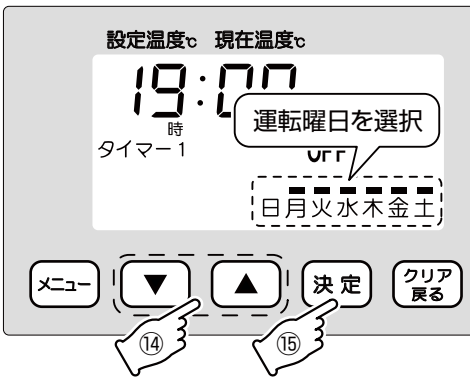
月曜の運転 ONが設定されました。
「火」が点滅し、火曜日の運転設定
選択画面になります。



⑭手順⑩～⑬を繰り返して、土曜日までの運転 ON ／ OFFを選択する。

⑮ 決 定 を押す。

タイマー 1が設定されました。
初期画面に戻ります。



その他のタイマー設定について

●タイマー２を設定する場合は、手順④で「タイマー２」を選択してください。

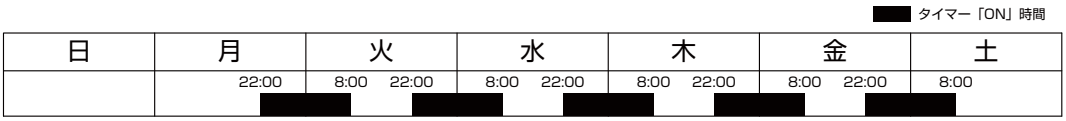
●タイマー設定は、次のような設定も可能です。

設定例１）曜日によって違う時間帯で運転を行う設定

タイマー１設定内容：月～金　6:30「ON」　18:30「OFF」
タイマー２設定内容：土　6:30「ON」　12:30「OFF」

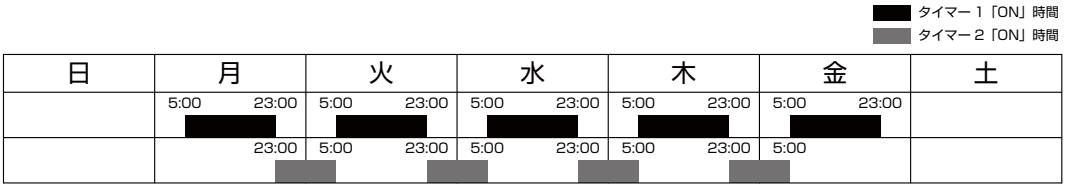
設定例２）日をまたぐ設定

タイマー設定内容：月～金　22:00「ON」　8:00「OFF」



設定例３）１週間のうち一定期間連続運転する設定

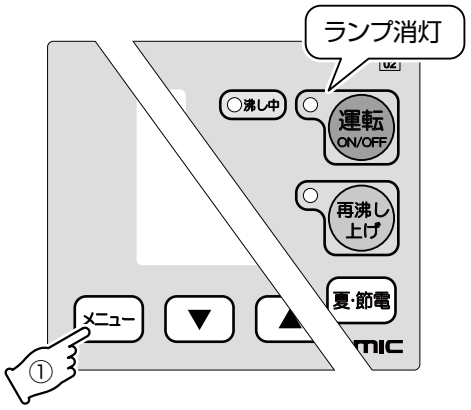
（月 5:00「ON」～金 23:00「OFF」）
タイマー１設定内容：月～金　5:00「ON」　23:00「OFF」
タイマー２設定内容：月～木　23:00「ON」　5:00「OFF」



連続運転 ※毎日 24時間運転する場合に使用します。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に メニュー を押す。

設定モードに入ります。



②▼ ▲ を押して「タイマー」を選択する。

③決 定 を押す。

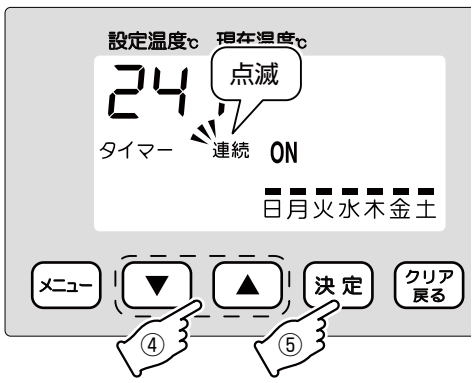
タイマー設定モードに入ります。

④▼ ▲ を押して「連続」を選択する。

⑤決 定 を押す。

連続運転が設定されました。
初期画面に戻ります。

※連続運転を解除する場合はタイマー１、または
タイマー２を設定する。



夏・節電運転

設定された期間内の運転を停止したり、タイマー運転を前倒しで行う機能です。
月単位で１～６カ月間の設定が可能です。工場出荷時はOFFに設定されています。

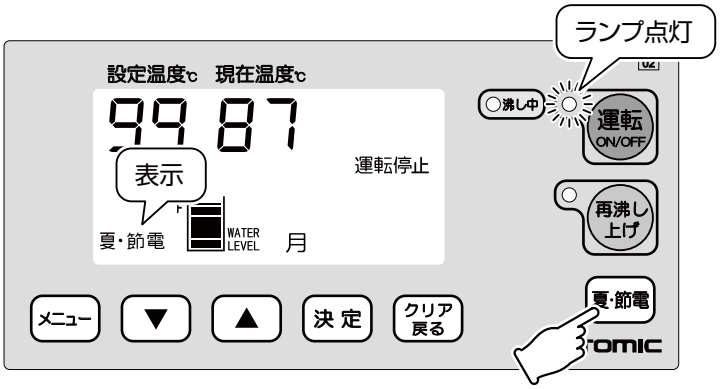
※運転停止日と重なった期間で設定されている場合は夏・節電運転を優先して行います。
※初期値は７月～９月が夏場 OFF(Sd-1)になっています。
※各モード(Sd-1 ～ 3)を組み合わせた設定はできません。
※夏・節電運転が設定されている間(「夏・節電」表示中)は、毎年設定通りの運転を行います。

①運転中(運転ランプ点灯中)に

夏·節電 を押す。

「夏・節電」が液晶に表示されます。

※夏・節電を解除する場合は、運転中(運
転ランプ点灯中)に 夏·節電 を押す。



夏・節電運転の開始設定可能月

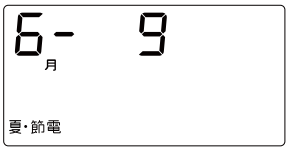
夏・節電運転を開始できる月は5月～ 10月です。

1月 2月 3月 4月 **5月** **6月** **7月** **8月** **9月** **10月** 11月 12月

設定例 1）6 月開始→9 月終了

5月 **6月** **7月** **8月** **9月** 10月

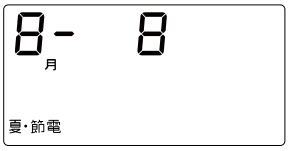
液晶画面の表示



設定例 2）8 月開始→8 月終了

5月 6月 7月 **8月** 9月 10月

液晶画面の表示

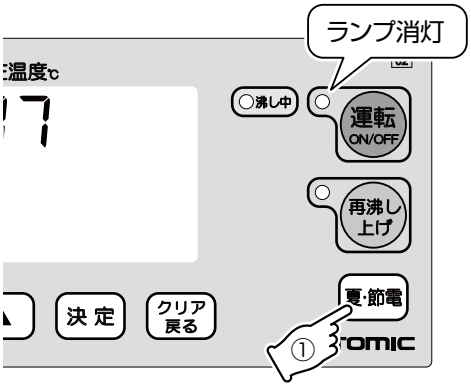


夏場 OFF 期間の変更（モード名：Sd-1）

設定された期間内の運転を停止させる機能です。

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に 夏・節電 を押す。

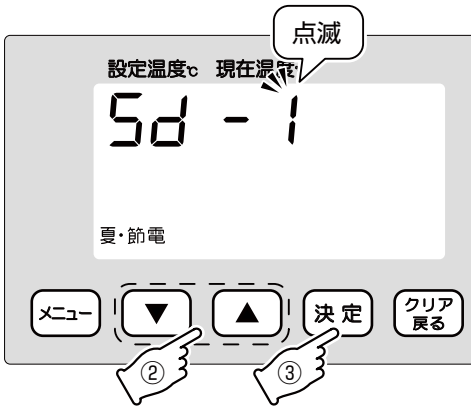
夏・節電運転設定モードに入ります。



②▼ ▲ を押して、「Sd - 1」を選択する。

③決 定 を押す。

夏場 OFF 期間選択画面になります。



④▼ ▲ を押して、夏場 OFF 期間を選択する。

⑤決 定 を押す。

夏場 OFF 期間が設定されました。
初期画面に戻ります。

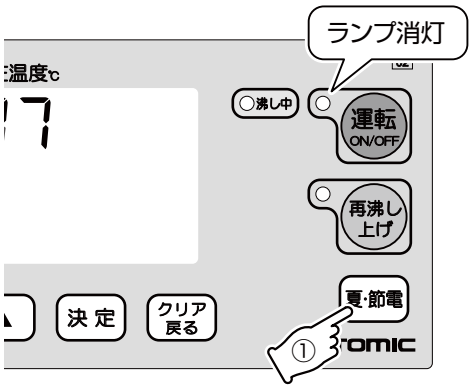
指定曜日運転モードの設定（モード名：Sd-2）

設定された期間内で、特定の曜日だけ運転をさせる機能です。

※運転時間はタイマー１、２の設定内容で行われます。
※タイマー１、２で運転 ONに設定していない曜日も選択できます。

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に 夏·節電 を押す。

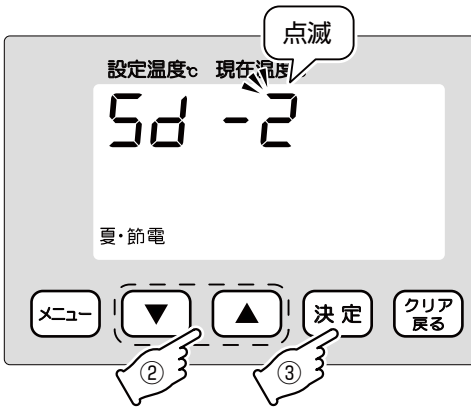
夏・節電運転設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「Sd -2」を選択する。

③決 定を押す。

指定曜日運転期間選択画面になります。



④▼ ▲を押して、指定曜日運転をする期間を選択する。

⑤決 定を押す。

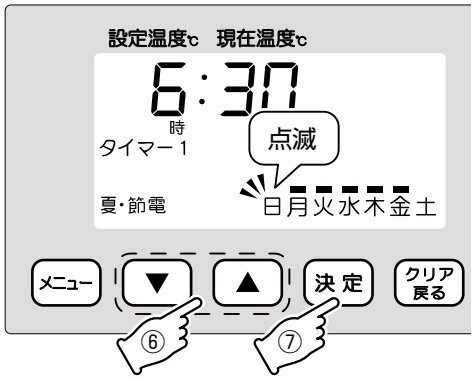
指定曜日運転期間が設定されました。
曜日選択画面になります。

⑥▼ ▲を押して、運転させたい曜日を選択する。

※運転曜日の選択方法はP.12『タイマー設定のしかた』手順⑩～⑬を参照してください。

⑦決 定を押す。

指定曜日運転が設定されました。
初期画面に戻ります。



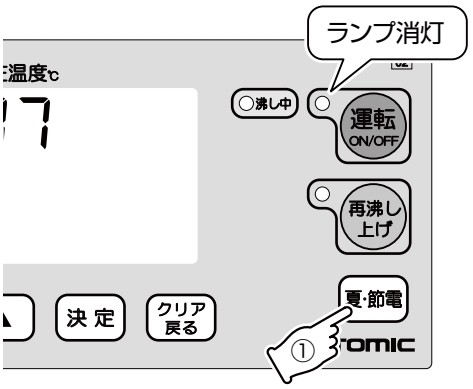
サマータイムの設定（モード名：Sd-3）

設定された期間内にタイマー運転を１時間、または２時間前倒しさせて運転する機能です。

※前倒しする時間はタイマー１、２両方に適用されます。

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に 夏･節電 を押す。

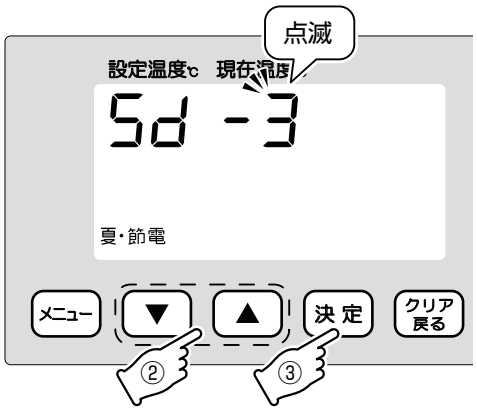
夏・節電運転設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「Sd -3」を選択する。

③決 定を押す。

サマータイム運転期間選択画面になります。



④▼ ▲を押して、サマータイム運転をする期間を選択する。

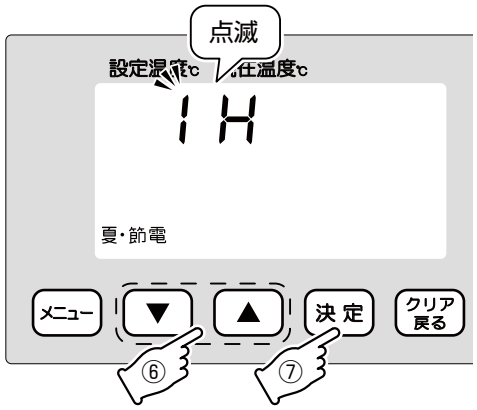
⑤決 定を押す。

サマータイム運転期間が設定されました。
サマータイム選択画面になります。

⑥▼ ▲を押して、「1H」または「2H」を選択する。

⑦決 定を押す。

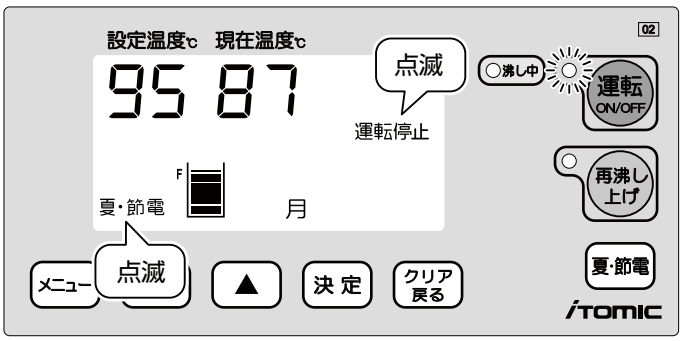
サマータイム運転が設定されました。
初期画面に戻ります。



夏・節電運転時の表示

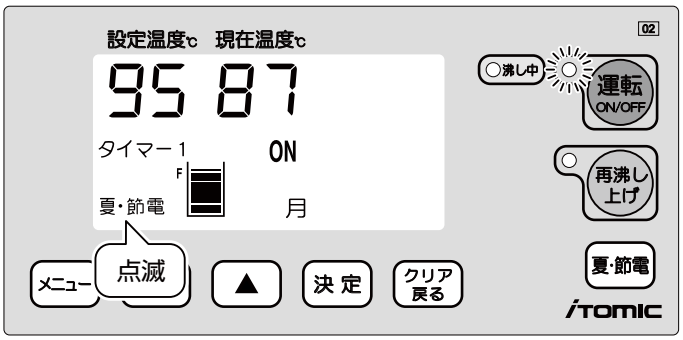
夏・節電運転中は表示部に以下の内容が表示されています。

夏場 OFF 期間（モード名：Sd-1）の表示



●「運転停止」と「夏・節電」の表示が、３秒点灯 １秒消灯の間隔で点滅します。

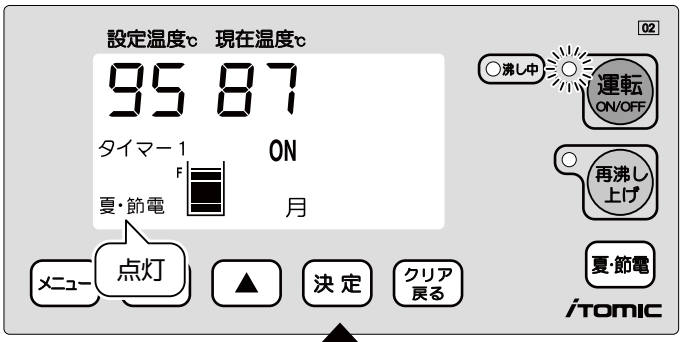
指定曜日運転モード（モード名：Sd-2）の表示



●「夏・節電」の表示が、３秒点灯 １秒消灯の間隔で点滅します。

※左図はタイマー１運転中の場合。

サマータイム（モード名：Sd-3）の表示



交互に表示

●「夏・節電」の表示が点灯します。

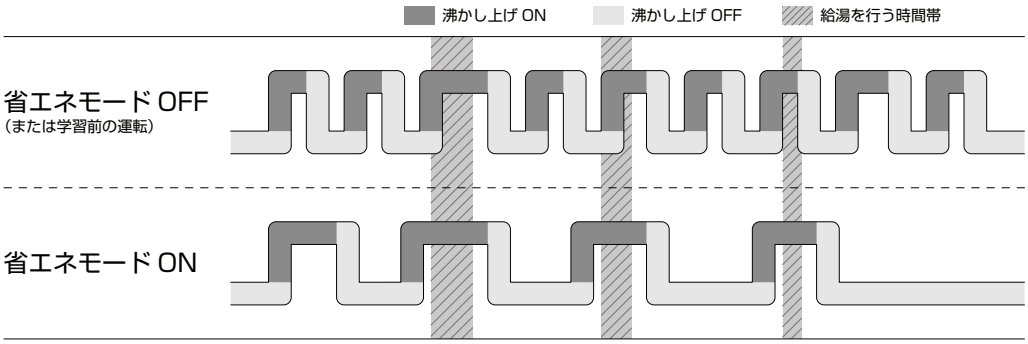
●「温度表示」と「サマータイム設定値（1Hまたは2H）」が交互に表示されます。

※左図はタイマー１運転中、サマータイム設定 1Hの場合。

省エネ運転

過去２週間の運転を学習し、最も効率の良い運転を自動で行う機能です。
工場出荷時はOFFに設定されています。

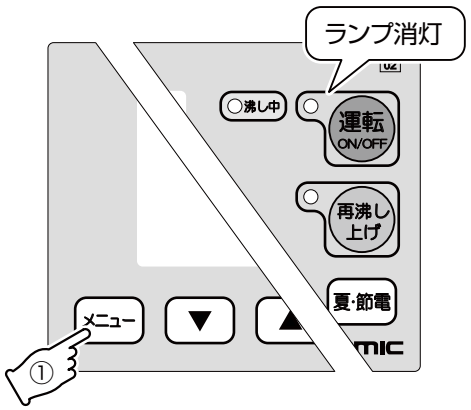
※各種設定変更を行った場合、夏・節電機能や運転停止日設定により運転停止を行った場合、停電が起きた場合には学習したデータはリセットされ、運転再開後から２週間は通常運転となります。



※省エネモード ONの場合、あまりお湯を使わない時間帯は設定温度～設定温度マイナス 10℃の範囲で湯温をキープします。(95℃ 設定時は95 ～ 85℃)
省エネモード OFFの場合は設定温度～設定温度マイナス 5℃の範囲で湯温をキープします。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に [メニュー] を押す。

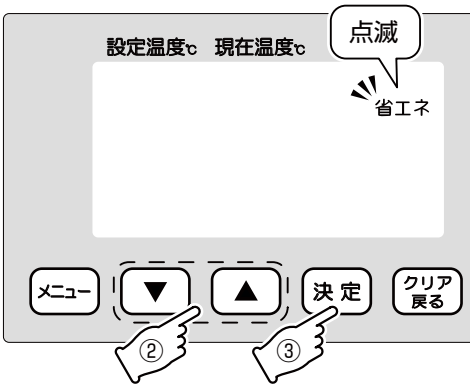
設定モードに入ります。



②[▼][▲]を押して、「省エネ」を選択する。

③[決 定]を押す。

省エネ運転設定モードに入ります。



④[▼][▲]を押して、「 On 」を選択する。

⑤[決 定]を押す。

省エネ運転が設定されました。
初期画面に戻ります。

※省エネ運転を解除する場合は手順④で「 OFF 」を選択する。

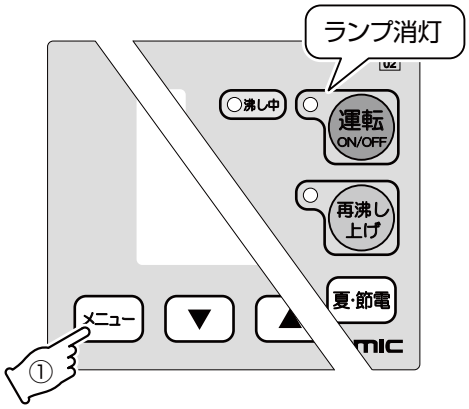
運転停止日の設定

設定した期間内の運転を停止させる機能です。(最大で６ヶ月間運転停止可能です。)
工場出荷時はOFFに設定されています。

※夏・節電運転と重なった期間で設定されている場合は夏・節電運転を優先して行います。
※複数の停止日予約はできません。(１つの設定が完了するまで次回の設定はできません。)

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に [メニュー] を押す。

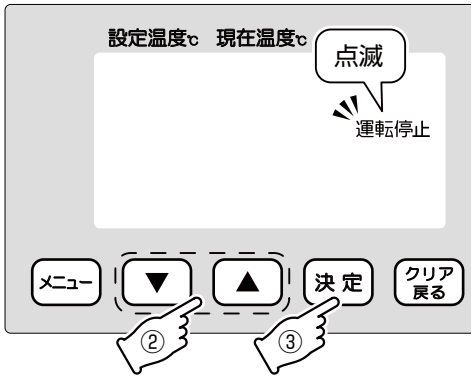
設定モードに入ります。



②[▼][▲]を押して、「運転停止」を選択する。

③[決 定]を押す。

運転停止日設定モードに入ります。



④[▼][▲]を押して、「 On 」を選択する。

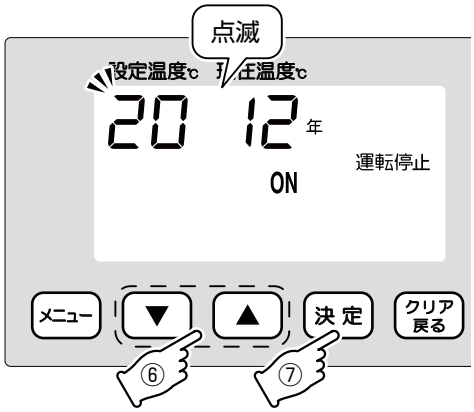
⑤[決 定]を押す。

運転停止日設定画面になります。

⑥[▼][▲]を押して、運転停止を開始する「年」を選択する。

⑦[決 定]を押す。

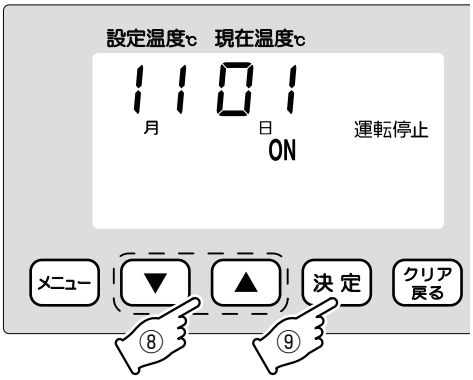
運転停止開始年が設定されました。
運転停止開始月日設定画面になります。



⑧ ▼ ▲ を押して、運転停止を開始する「月日」を選択する。

⑨ 決定 を押す。

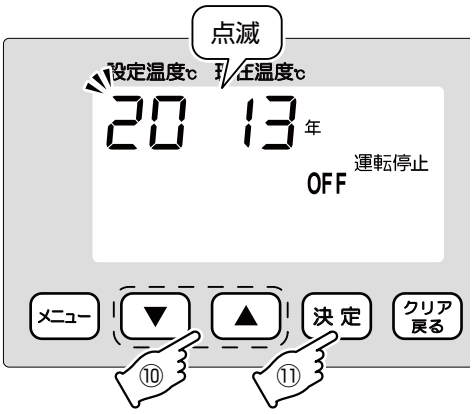
運転停止開始月日が設定されました。
運転停止終了年設定画面になります。



⑩ ▼ ▲ を押して、運転停止を終了する「年」を選択する。

⑪ 決定 を押す。

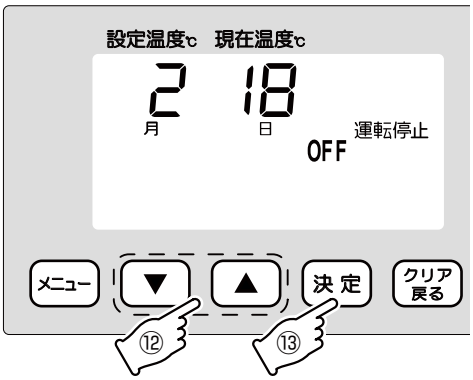
運転停止終了年が設定されました。
運転停止終了月日設定画面になります。



⑫ ▼ ▲ を押して、運転停止を終了する「月日」を選択する。

⑬ 決定 を押す。

運転停止終了月日が設定されました。
初期画面に戻ります。



スイッチロック機能

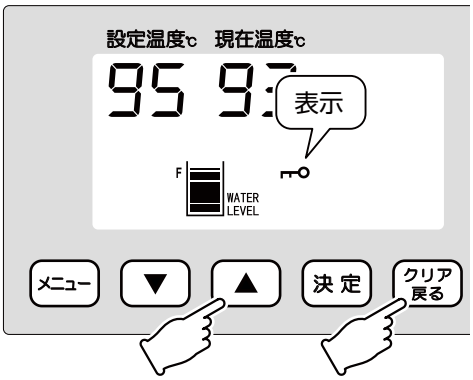
いたずらや誤操作を防止するため、操作スイッチを全てロックさせる機能です。
運転中、運転停止中どちらでもロックさせることが可能です。

※スイッチロック中にエラーが発生した場合には自動的にロックが解除されます。また、停電からの復帰後はスイッチロックが継続されます。

▲ と クリア 戻る を3秒以上長押しする。

「 🔑 」が表示されます。

※ロックを解除する場合は、「 🔑 」表示中に
▲ と クリア 戻る を3秒以上長押しする。

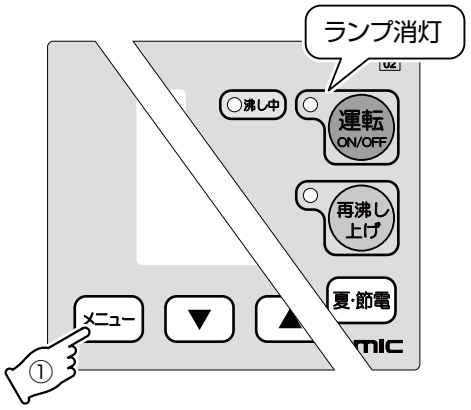


現在年月日・時刻の設定

現在年月日・時刻を変更したい場合は以下の操作をしてください。
※現在年月日・時刻は工場出荷時に設定されています。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に メニュー を押す。

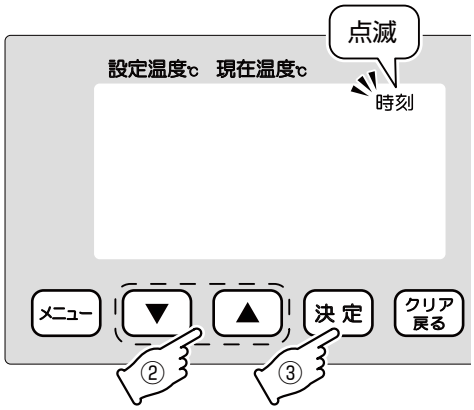
設定モードに入ります。



②▼ ▲ を押して、「時刻」を選択する。

③決 定 を押す。

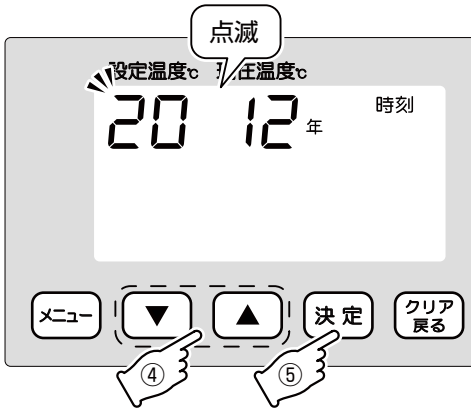
現在年月日・時刻設定モードに入ります。



④▼ ▲ を押して、「現在年」を合わせる。

⑤決 定 を押す。

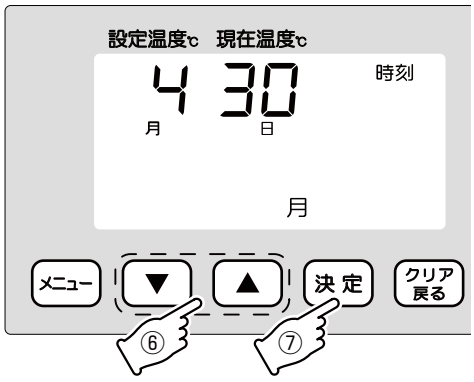
現在年が設定されました。
現在月日設定画面になります。



⑥▼ ▲ を押して、「月日」を合わせる。

⑦決 定 を押す。

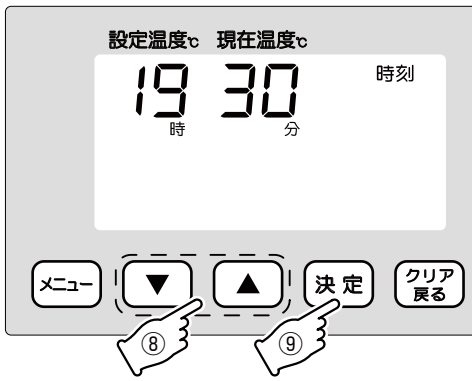
現在月日が設定されました。
現在時刻設定画面になります。



⑧ ▼ ▲ を押して「時刻」を合わせる。

⑨ 決 定 を押す。

現在時刻が設定されました。
初期画面に戻ります。



自動給排水機能 Cタイプのみ

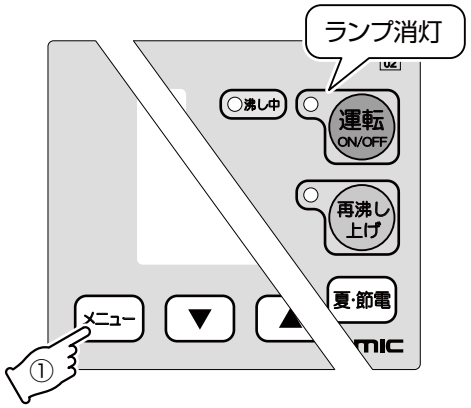
自動給排水日設定の変更

設定した曜日のタイマー運転開始２時間前に、自動的に湯槽内のお湯を入れ替える機能です。
工場出荷時は月曜日に設定されています。

※タイマー１、２で運転 ONに設定していない曜日は選択できません。
※複数の曜日を設定することはできません。
※夏・節電モードや運転停止日設定などで６日以上の運転停止をした場合、運転停止終了日の翌日がタイマー運転 ON 設定になっていると設定曜日以外でも給排水を行います。
※以下の場合は給排水を行いません。
・連続運転時
・タイマー運転終了時刻とタイマー運転開始時刻の間隔が２時間未満
・タイマー運転開始時刻が0:00 ～ 1:59の間（給排水時間が日をまたぐ設定になっている）
・湯槽内の湯温が60℃以上
・タイマー設定で自動給排水日に設定した曜日を運転 OFFに変更した場合

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に メニュー を押す。

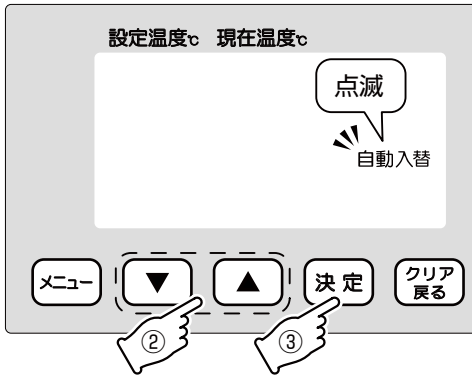
設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「自動入替」を選択する。

③ 決 定 を押す。

自動給排水設定モードに入ります。



④ ▼ ▲ を押して、自動給排水をする曜日を選択する。

⑤ メニュー を押す。

※曜日選択のみで終了する場合は 決定 を押す。

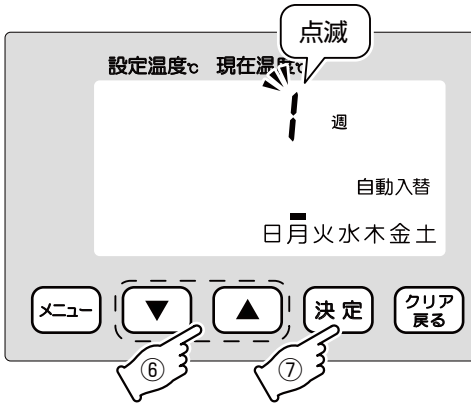
自動給排水を行う曜日が設定されました。
自動給排水を行う回数選択画面になります。

⑥ ▼ ▲ を押して、自動給排水を行う回数を選択する。

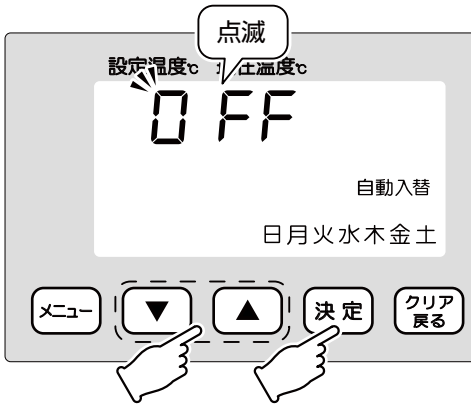
※自動給排水を行う回数は以下の３種類から選択できます。
１週…週に１回自動給排水を行います。
２週…２週に１回自動給排水を行います。
４週…４週に１回自動給排水を行います。

⑦ 決定 を押す。

自動給排水設定が完了しました。
初期画面に戻ります。



※自動給排水機能をOFFにする場合は手順④で「 0FF 」を選択し、決定 を押す。



手動給排水機能 Cタイプのみ

スイッチ操作で湯槽内のお湯を自動的に入れ替える機能です。

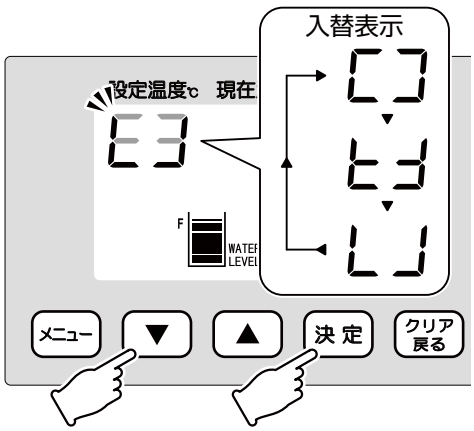
※湯槽内の湯温が60℃以上の場合は手動給排水を行えません。
※手動給排水完了後は、開始前の運転状態に戻ります。
※手動給排水中に停電した場合は、手動給排水を中断し、停電が起こる前の状態で復帰します。
※手動給排水が完了するには１時間 30分程度かかります。

▼ と 決定 を３秒以上長押しする。

「入替表示」が表示され、しばらくすると排水口より排水を開始します。

※手動給排水を中断する場合は、クリア 戻る を押す。

注)スイッチを押した直後でも、しばらく排水が続きます。(約５分)

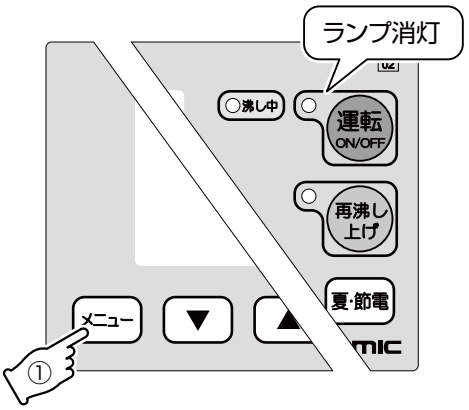


設定温度の変更

沸かし上げ設定温度を変更したい場合は以下の操作をしてください。
※工場出荷時には「95℃」に設定されています。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に [メニュー] を押す。

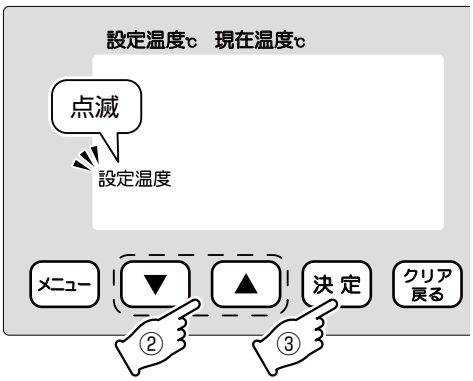
設定モードに入ります。



②[▼] [▲] を押して、「設定温度」を選択する。

③[決 定] を押す。

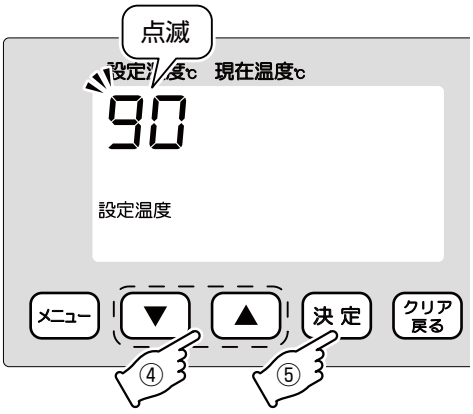
沸かし上げ温度設定モードに入ります。



④[▼] [▲] を押して、希望する沸かし上げ温度に合わせる。

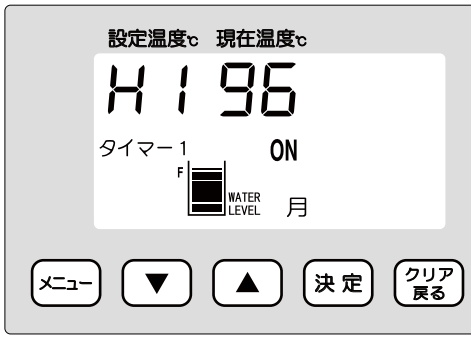
⑤[決 定] を押す。

沸かし上げ温度が設定されました。
初期画面に戻ります。



95℃以上のお湯が必要な場合は…

手順④にて「HI」に設定してください。
「HI」設定では98℃を目標に沸かし上げを行います。
※「96℃」、「97℃」には設定できません。



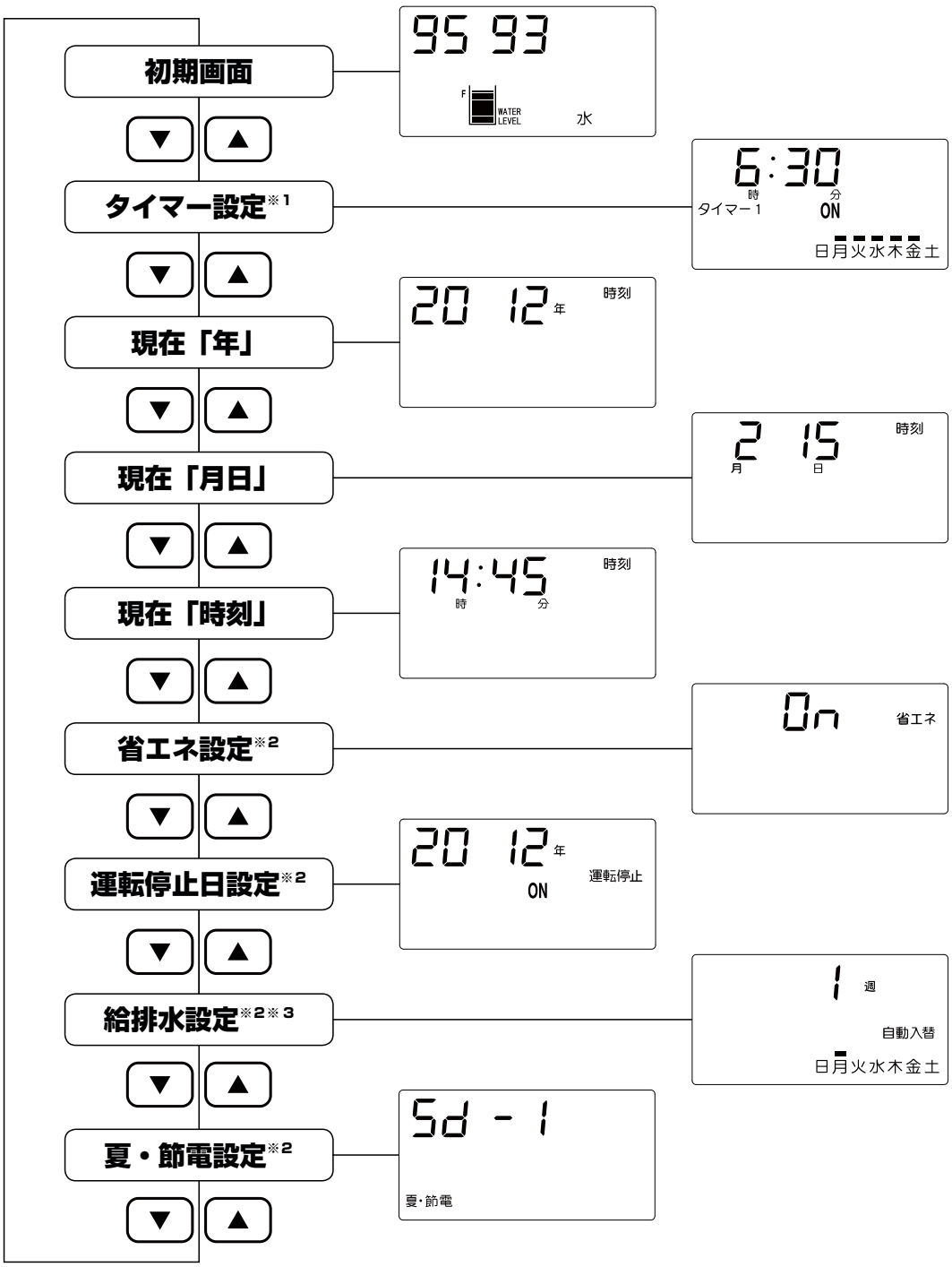
設定内容の確認

現在年月日・時刻、設定温度、タイマー設定などの内容を確認したいときは以下の操作をしてください。

① ▼ ▲ を押す。

押すごとに設定内容が下記の順で表示されます。

※ 10秒間スイッチ操作無し、または クリア 戻る を押すと初期画面に戻ります。



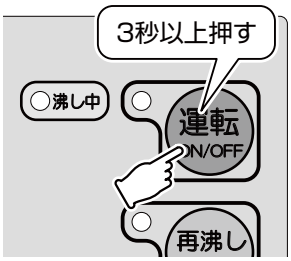
※1：タイマー ON ／ OFF時刻、または連続運転を表示します。
※2：設定がON状態のときのみ表示します。
※3：Cタイプ（自動給排水機能付き機種）のみ表示します。

お手入れの方法

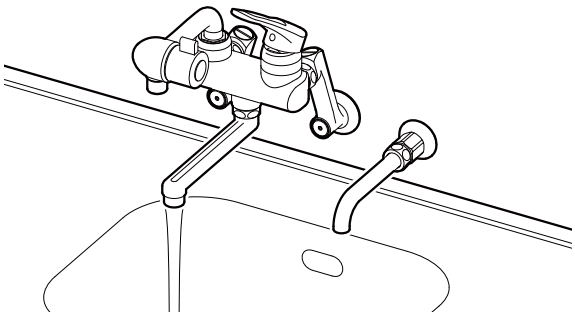
長期間使用しないときは

長期間、湯沸器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿って湯槽内のお湯を抜いてください。

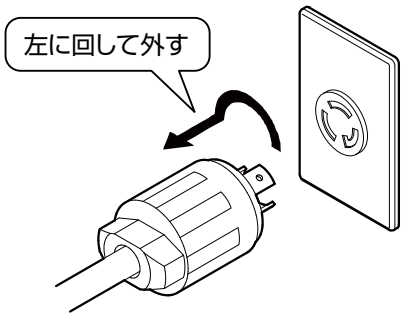
① 運転 ON/OFF を3秒以上押して運転をOFFにする。



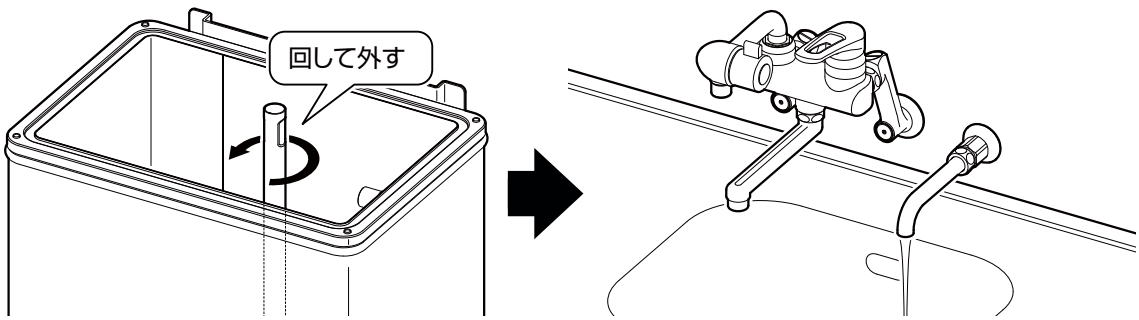
②お湯の温度を調整し、ぬるい温度で出湯する。
<u>完全に水になる</u>まで出し切ったら止水栓を閉める。



③電源プラグをコンセントから抜き、
一次側の漏電ブレーカをOFFにする。



④本体の上蓋を開け、オーバーフロー管を取り外し排水を開始する。
※図はEWRの場合



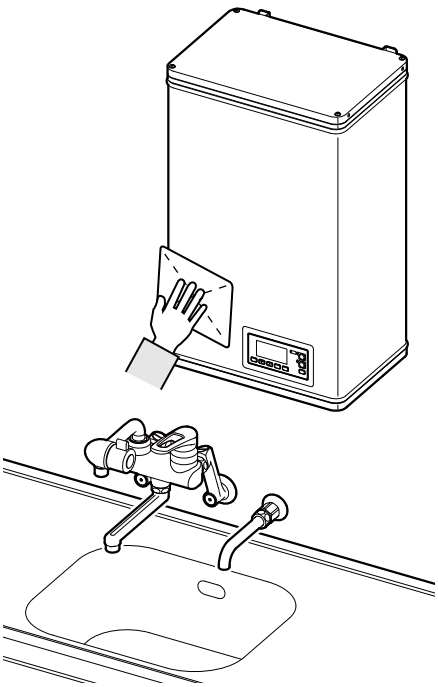
⑤排水が終了したら、オーバーフロー管を取り付け、上蓋を閉める。

保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	実施の目安
管理技術者のみ 電圧の測定	定格電圧の±10％の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線や、コントローラー故障の原因となります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回／月
管理技術者のみ 電流値の測定	定格電流の±10％の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者のみ ヒーター絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計（500Vメガー）にて測定し、1MΩ以上あることを確認してください。 ※**破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。**	
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	
漏水全般について	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
湯槽内部の清掃	最低、年に一回以上は槽内、ヒーター、水位センサーの表面のスケールをナイロンタワシなどで清掃してください。（槽内にはセンサーなどの突起物が出ていますので折ったり破損しないように、またケガのないようにご注意ください。）	適宜
給水一次側フィルタの清掃	フィルタ内にゴミが詰まると湯沸器の性能に影響しますので最低、年に一回以上は止水栓を閉めてフィルタ内のゴミを除去してください。	

外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。（図はEWRの場合）



こんなときは

故障かな？と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

状況	ご確認ください	対処方法
お湯が沸かない お湯にならない	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	運転スイッチがOFFになっていませんか？	運転スイッチをONにしてください。
	電源プラグは確実にコンセントに挿し込んでありますか？	電源プラグを確実にコンセントに挿し込んでください。
	タイマーの設定が正しく行われていますか？	タイマーの設定をご確認ください。 設定方法はP.12『タイマー設定のしかた』参照。
	電圧が誤っていませんか？	設置現場の電圧をご確認ください。100Vの湯沸器を200Vで使用すると、機器の故障につながります。200Vの湯沸器を100Vで使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	管理技術者の方に依頼し、ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。
湯温が低い または 沸き上がり時間が長い	設定温度が低くありませんか？	設定温度を希望の温度に設定してください。P.25『設定温度の変更』参照。
	お湯を大量に使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。沸き上がるまでお待ちください。 P.5『沸き上がり時間の目安』参照。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけては水温が急激に下がるため、沸き上がり時間が長くなります。 P.5『沸き上がり時間の目安』参照。
	配管距離が長くありませんか？	配管距離が長い場合、冷水が配管に溜まっている場合がありますので、しばらく流してからご使用ください。必要に応じて管理技術者の方に保温工事をご依頼ください。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足してませんか？	止水栓を開いて調整してください。 給水一次側のフィルタに詰まりがある場合は、管理技術者の方に依頼し取り除いてください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
	立ち上がり配管距離が長くなっていませんか？	立ち上がり配管距離が長いと抵抗が大きくなり、エアーも溜まりやすくなるので湯の出方が悪くなります。必要に応じて管理技術者の方に配管の見直しをご相談ください。
給水時に、本体および配管から振動音がする	【EWS/EWRのみ】 給水圧力が高くありませんか？	給水圧力が高い(0.3MPa以上)と「ウォーターハンマー現象」による振動音が発生する場合があります。 給水一次側に減圧弁を設け、給水圧力を下げてください。
	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。 フレキ管の場合は給水抵抗が小さくなるよう、曲げ方を工夫してください。

状況	ご確認ください	対処方法
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？ または 断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。混合水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	止水栓を閉めた後、その旨を弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部の場合は締め直してください。 膨張水の処理配管接続部も点検してください。
設定温度に達しても沸かし上げが止まらない(沸し中ランプが点灯している)	本体上蓋や排水管から湯気が吹き出していませんか？	直ちに湯沸器の使用を中止し、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。

その他の不具合およびエラーメッセージについて

P.34の故障状況シートをFAXいただくか、お電話にて弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。

停電後の対応について

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。
自動運転中に停電が起きた場合は自動運転で、運転停止中に停電が起きた場合は運転停止状態で復帰します。

また、停電後には以下のことをご確認ください。

ご確認ください	対処方法
現在年月日、現在時刻の設定は正しいですか？	正しい場合はそのままお使いいただけます。 誤っている場合は、P.22『現在年月日・時刻の設定』を参照し、再設定してください。

エラー表示

使用中にコントローラー表示部にエラー表示が出たら下表を参照し、処置してください。

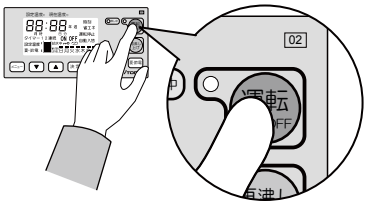
※エラーが発生すると自動的に運転 OFF状態となり、ブザー報知します。運転を再開するときは原因を取り除いたうえで運転 ONにしてください。

表示	異常内容	考えられる原因／対処方法
E 11	異常高温	リレーの溶着、温度センサー不良 ⇒該当部品の交換 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
E 14	空焚き検出	空焚き運転の検出 ⇒湯沸器使用の中止 直ちに湯沸器の使用を中止し、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
E 23 E 24	給水異常	止水栓が閉じている ⇒止水栓を開く 断水中 ⇒断水終了までお待ちください。 水位センサーのスケール付着 ⇒スケール除去 ナイロンタワシなどで水位センサーに付着したスケールを除去してください。 給水弁、水位センサーの故障 ⇒該当部品の交換 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。 給湯蛇口が開けっ放し ⇒給湯蛇口を閉める 給水口接続部のフィルターのゴミ詰まり ⇒フィルター清掃
E 31 （Cタイプのみ） E 32 （Cタイプのみ）	排水異常	止水栓が閉じている ⇒止水栓を開く 断水中 ⇒断水終了までお待ちください。 水位センサーのスケール付着 ⇒スケール除去 ナイロンタワシなどで水位センサーに付着したスケールを除去してください。 排水弁、給水弁、水位センサーの故障 ⇒該当部品交換 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。 給湯蛇口が開けっ放し ⇒給湯蛇口を閉める 給水口接続部のフィルターのゴミ詰まり ⇒フィルター清掃
E 41	温度センサ断線	サーミスタの断線 ⇒該当部品交換 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
E 51	温度センサ短絡	サーミスタの短絡 ⇒該当部品交換 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。 空焚き運転の検出 ⇒湯沸器使用の中止 直ちに湯沸器の使用を中止し、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。

表示	異常内容	考えられる原因／対処方法
E 61	沸かし上げ異常	ヒーター、または接続電線の断線。もしくはヒーター用リレーの故障 ⇒該当部品交換 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
E 71	メモリ異常	プログラムデータの破壊、または通信エラー ⇒運転 ONに戻すと、運転を再開します。その際、設定温度、タイマー運転時刻が変更されていないかプログラム設定を再確認してください。
E111	時刻機能異常	⇒再起動、または時刻の再設定 再起動する場合は、一次側電源をOFF⇒ ONにする、または一度電源プラグを外してから挿し直して、湯沸器を再起動してください。 時刻を再設定する場合は、P.22『現在年月日・時刻の設定』参照。 再起動後に同じエラーが発生した場合は、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
E121	コネクタ接続不良	⇒再起動 一次側電源をOFF⇒ ONにする、または一度電源プラグを外してから挿し直して、湯沸器を再起動してください。 再起動後に同じエラーが発生した場合は、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
00:00 （初期画面との交互表示） または 	電池切れ	⇒電池交換 リチウム電池の寿命は約５年です。（目安） 弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。 ※ただし、エラー表示が出ても以下の方法により運転を再開することが出来ます。 ①エラー表示中にタイマーを連続運転に設定し、運転をONにする。 ②エラー表示中に時刻設定を行い、運転をONにする。 **注意！** ②の場合、一度電源がOFFになると再度時刻設定が必要になります。

ブザーを止めるには

ブザーが鳴った場合には運転スイッチを押してください。



アフターサービス

消耗品について

<u>下表に記載する部品は定期的に交換が必要な消耗部品の一例です。劣化による動作不良や漏水を防止するため、定期的に交換してください。</u>

交換（有償）、購入のご依頼は弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
上蓋パッキン類	設置、交換日より ２～５年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。（※水道水中のミネラル分が固着したもの。）
給水弁		
排水弁 （Cタイプのみ）		
ヒーター		
コマパッキン （蛇口付機種のみ）		

※上記以外でもパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

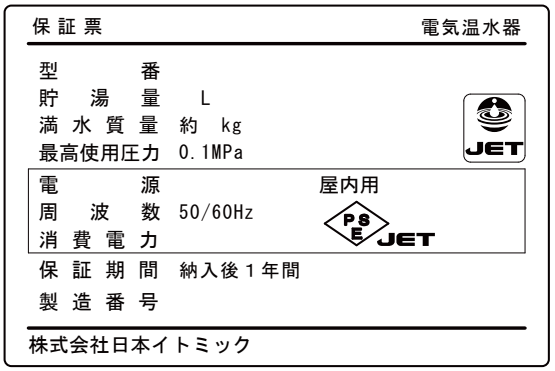
本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はフロント課にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼の際には、P.34の故障状況シートに必要事項をご記入いただき、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社宛てにFAXにてご送付ください。
FAXをお使いになられていない場合は、ご記入いただいた内容をお電話にてご連絡ください。
（型番等は、本体に貼られている保証票に印刷されています。）


保証票　電気温水器

型　番
貯湯量　L
満水質量　約　kg
最高使用圧力　0.1MPa

電　源　屋内用
周波数　50/60Hz
消費電力

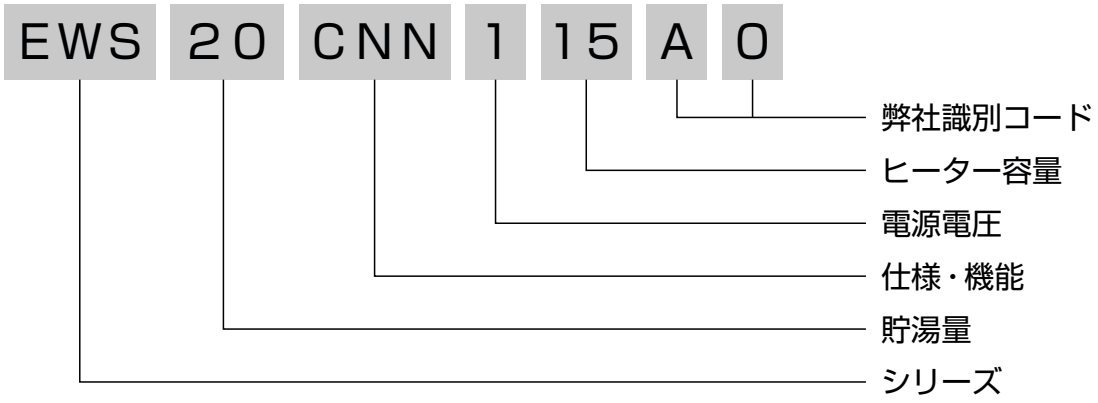
保証期間　納入後１年間
製造番号

株式会社日本イトミック

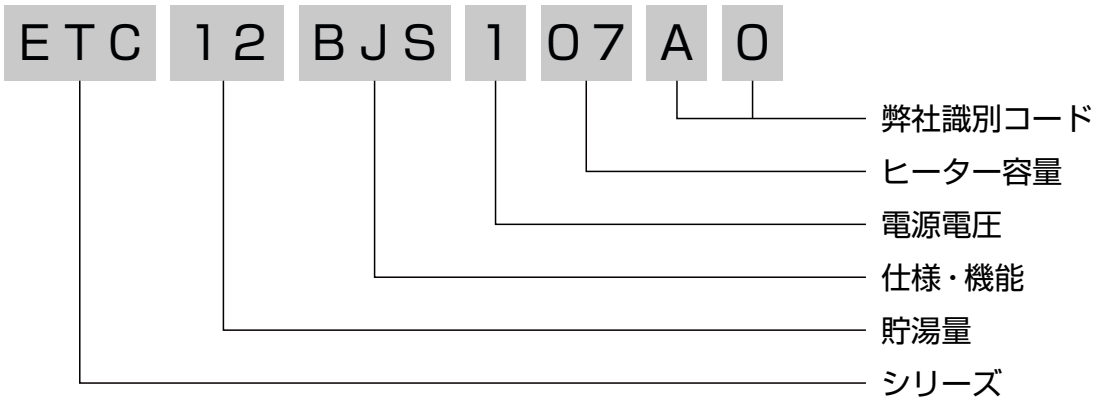
故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		
電源／電力		製造番号	
設置場所		納入年月	
状　　態			

型番について

型番は以下の内容を表しています。



記号	内容	
EWS EWR	製品シリーズ名を表します。	
20	貯湯量を表します。「20」の場合は貯湯量 20Lです。	
CNN	C＝コントローラー付（自動給排水機能あり）	NN＝蛇口なし
BNN	B＝コントローラー付（自動給排水機能なし）	
1	電源電圧を表します。「1」の場合は単相 100Vです。	
15	ヒーター容量を表します。「15」の場合は1.5kWです。	



記号	内容		
ETC ETR	製品シリーズ名を表します。		
12	貯湯量を表します。「12」の場合は貯湯量 12Lです。		
BJS（ETCのみ） BJW	B＝コントローラー付 （自動給排水機能なし）	J＝蛇口付	S＝蛇口 1つ W＝蛇口 2つ
BJL BJF（ETRのみ） BJR			L＝蛇口向き左 F＝蛇口向き正面 R＝蛇口向き右
1	電源電圧を表します。「1」の場合は単相 100Vです。		
07	ヒーター容量を表します。「07」の場合は0.75kWです。		

※記載以外の仕様については弊社営業本部、または最寄りの営業所・地区販売会社にお問い合わせください。

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示のうえ、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前に弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のエラー表示を行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のエラー表示とはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってエラー表示方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570−011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。
　その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、中部・北陸・近畿地区のお客様は西日本修理受付センター、その他の地域のお客様は最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161（代）**
FAX：03（3621）2163
西日本修理受付センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（228）0824**

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（5860）4992（代）**
FAX：03（3621）2163

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：011（615）6681（代）**
（株）北海道イトミック　**FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：022（773）6161（代）**
（株）東北イトミック　**FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
（株）日本イトミック　**FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（222）2561（代）**
（株）日本イトミック　中部営業所　**FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：06（6226）0800（代）**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7（KC ビル 9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：082（240）1361（代）**
（株）日本イトミック　中国営業所　**FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 1-7-12（徳永ビル）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：092（481）3911（代）**
（株）九州イトミック　**FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

KK00D13003-5

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

'14.12-3-1-5 ①